



委員会の報告は
2、3面をご覧ください



2023年度委員会
集合写真

2023年度(第4期最終年度)を迎えるにあたって

全国各地で起こる災害、それにも増して過酷なる猛暑の夏でございました。心よりお見舞い申し上げます。

2023年度の委員会が7月20日、しんらん交流館にて久しぶりに対面で行うことができました。議事事項、全会一致で可決されましたことをご報告申し上げます。その後コロナ下で中止しておりました懇親会も4年ぶりに再開し、皆様と顔を合わせて集えることの喜びは非常に大きいものでありました。

その様なコロナ下の合間を縫う様にして4月9日、真宗本廟に於いて「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」を勤修す

ることが出来ました。推進委員、実行委員の皆様には大変に御世話をお掛けしました。その他宗務役員及びスタッフ、そして全国より御参詣いただきました会員の皆さまには心よりお礼申し上げます。こうして勤めることが出来ましたのも、大勢の協力があったればこそと、感慨深いものがあります。

長い歴史のもと、我々にまで伝わっているお念仏、そのお念仏の教えを聞こうと、「聞法一路」の精神をもって立ち上がった大谷婦人会です。その130年の歩みの中で勤めることができた慶讃法要の記録を主とした記念誌を現在作成しております。

伝統ある大谷婦人会、益々の発展を願いながらこれからも邁進してゆく所存であります。

(大谷婦人会委員長 月輪 満子)



帰敬式



音楽法要



記念法話



交流会

真宗大谷派大谷婦人会 2023年度委員会報告



2023年7月20日しんらん交流館大谷ホールにおいて、全国の27名の委員のうち18名が出席し、2022年度間法研修事業報告・収支決算・真宗大谷派大谷婦人会慶讃事業報告・特別会計収支決算および2023年度間法研修事業計画(案)・収支予算(案)・大谷婦人会宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃事業特別会計総計画変更(案)(主な内容は宗派への記念品寄贈及び記念誌発行による会計年度の延長)・特別会計予算(案)・真宗大谷派大谷婦人会規則の一部改正について審議され、全会一致で可決されました。

全国支部長・役員研修会

2023年度
全国支部長・役員研修会
秋季永代経法要開催

開催日 9月14日(木)日帰り
会場 しんらん交流館
講題 「恵信尼消息にであって」

講師 渡邊 愛子 氏
冥加金 3,000円(昼食込み)

本会は4年ぶりに日帰りで開催され、参加者は支部長、役員、会員合わせて73名(会長、前会長含む)、コロナ以前と変わらぬ賑わいとなりました。

講師に渡邊愛子先生をお迎えし「恵信尼消息にであって」という講題でお話しをいただきました。先生は合唱曲「花こぶし——恵信尼消息をもとに」の作詞のために訪ねた上越での出会いや聞き得た伝承、恵信尼さまのお手紙から伺うことのできる夫の親鸞さまや娘の覚信尼さまへの思いについて熱く語っていただきました。法話後の座談会では参加者より「もっと恵信尼さまのお話しをお聞きしたい」「上越に行ってみよう」という声がありました。

2023年度の今後の主な行事

2023年

委員協議会

開催日 12月14日(木)
会場 しんらん交流館

随時、支部巡回の受付をしています
お問い合わせは事務局まで



2024年

すみれ会

開催日 3月7日(木)
会場 しんらん交流館
講師 酒井 義一 氏
冥加金 1,000円(昼食込み)

2023年度全国大会
物故会員追弔法要・春季永代経法要

開催日 4月25日(木)
会場 しんらん交流館
講師 木越 康 氏

北陸地区間法会

開催日 5月16日(木)日帰り
会場 ANAクラウンプラザホテル金沢
講師 佐賀枝 夏文 氏
冥加金 5,000円(昼食込み)

2023年度有功章受章者茶会

開催日 5月22日(水)
会場 しんらん交流館(茶室、すみれの間他)
冥加金 5,000円(新規受章者は冥加金無料)

東海・近畿地区間法会

開催日 6月18日(火)日帰り
会場 名古屋市内ホテル
講師 四衛 亮 氏
冥加金 5,000円(昼食込み)

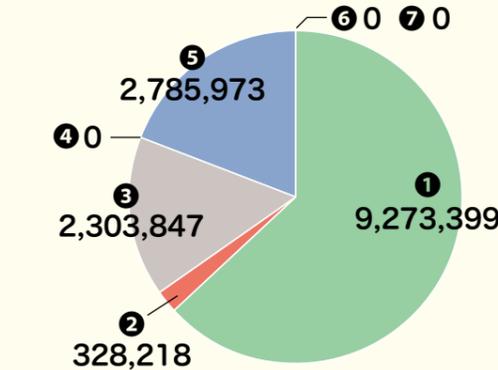
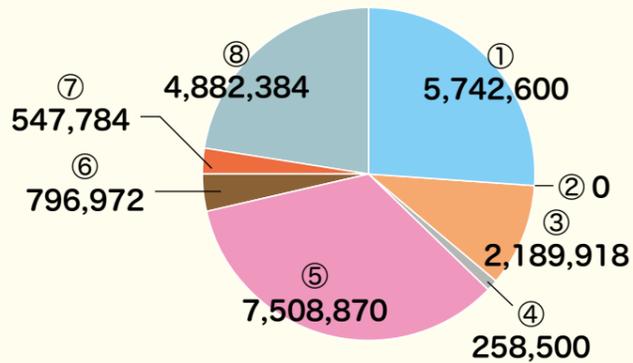
皆さんとお会いできることを
楽しみにしています!



2022年度決算 自 2022年7月1日～至 2023年6月30日

収入総額 21,927,028円

支出総額 14,691,437円



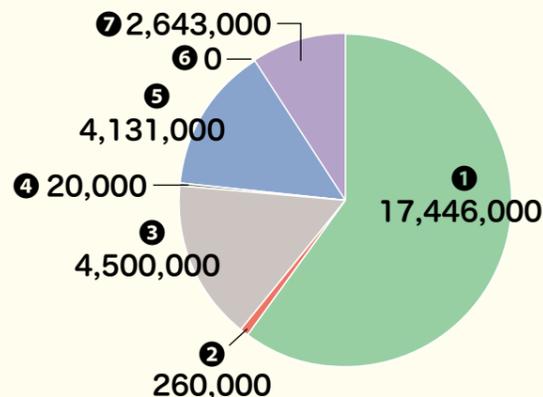
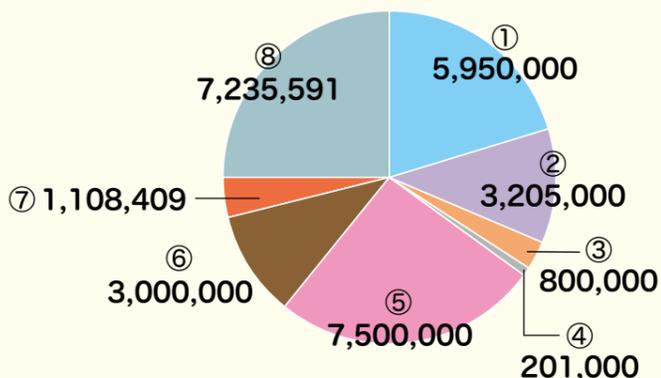
- 収入
- ①年会費:会員一人700円
 - ②冥加金:地区間法会、文化交流会等の参加費
 - ③懇志金:有功章懇志、諸懇志、永代経懇志
 - ④記章礼金:会員略肩衣・念珠・バッグ、記章
 - ⑤花すみれ購読料:『花すみれ』の購読料
 - ⑥教化誌購読料:『やさしい法話シリーズ』の購読料
 - ⑦雑収入:預金利息、グッズ販売、『花すみれ』広告料等
 - ⑧繰越金

- 支出
- ①法要・教化・文書伝道費:地区間法会、文化交流会、支部巡回講師派遣、定例法話、法要・荘厳費、ブロック別支部長会、すみれ会、『花すみれ』、『やさしい法話シリーズ』、『通信すみれ』等に係る経費
 - ②奨励費:支部の設立や活動への助成金、会員略肩衣、念珠、バッグの調製等に係る経費
 - ③会議費:委員会、委員協議会、常任委員会等に係る経費
 - ④人件費:アルバイトに係る経費
 - ⑤諸費:保険料、事務通信費、慶弔費、公租公課、業務委託等に係る経費
 - ⑥回付金:特別事業積立金へ回付
 - ⑦予備費

2023年度予算 自 2023年7月1日～至 2024年6月30日

収入総額 29,000,000円

支出総額 29,000,000円



2023年4月9日、10日及び5月5日に行われた手づくり市の収益金につきましては、委員会承認の上、20万円を「セーブ・ザ・チルドレン」へ、69,090円を「おてらおやつクラブ」へ寄付いたしました。

大谷婦人会は被災地の支援をしています。引き続き義援金のご協力をお願いいたします。
郵便局 振替口座 真宗大谷派大谷婦人会災害義援金 口座 00950-3-209979



「定例法話会後の茶話会」

今年度から定例法話会で法話の後、講師を囲んで茶話会を始めることになりました。

9月10日(日)14時よりしんらん交流館「すみれの間」にて、京都支部会員中心に、サチカ会長、妙子前会長と総勢25名の皆さんとともにお勤めをいたし、続いて、大窪祐宣氏から「ほとけさまに会いにきたいのち」の講題で法話を聴聞しました。



茶話会の様子

その後、「すみれの間」後方での茶話会では、ほとんどの方が残って参加されました。お茶とお菓子を頂きながら法話についてや近況報告等々、和やかにあつという間に予定していた1時間が過ぎてしまいました。

この度の新たな試みを、今後の大谷婦人会法話会事業の参考にしていきたいと思います。

「定例法話会」は、毎月10日14時より「すみれの間」において開催されています(8月はお休み)。聴講無料、どなたでもお参りいただけますので、お気軽にご参加ください。

報告

月刊聞法誌『花すみれ』

2024年1月号から新たなシリーズ「インド紀行」が始まります。宮下 晴輝 教学研究所長よりインドにまつわる暮らしや原始仏教などをテーマに、お話をいただきます。『花すみれ』未購読の方はぜひ購読ください。

お申込みは大谷婦人会事務局まで。

また、読者投稿、支部だよりの投稿をお待ちしております。都合により、掲載まで時間がかかる場合がありますのであらかじめご了承ください。

価格：年間購読1部 3,000円(税込・送料込 1冊250円)

やさしい法話シリーズ No.25 新刊発行予告

一楽 真述 『念仏もうす生活』



皆さまより好評をいただいておりますやさしい法話シリーズ、今回は2022年12月に開催された「すみれ会」より、講師の一楽真先生(大谷大学学長)のご法話をまとめ発刊いたします。

仏教とは何のためにあるのか、念仏は世の中に起こっている問題や私たちの生活に起こっていることにどのように答えてくれるのかについて、やさしくていねいに語られています。

大谷婦人会各支部には、事前にお送りする案内にて希望部数をお伺いし、発行後にお送りいたします。追ってご案内させていただきますので、よろしくお願いたします。

価格：1冊200円(税込・送料別)

私たちの宗旨

【宗旨】浄土真宗

【本尊】阿弥陀如来

【正依の経典】

仏説無量寿経(大経)

仏説観無量寿経(観経)

仏説阿弥陀経(小経)

【宗祖】親鸞聖人

【宗祖の著書】

顕浄土真実教行証文類(教行信証)

【宗派名】真宗大谷派

【本山】真宗本廟(東本願寺)

【所在地】

京都市下京区烏丸通七条上る常葉町七五四番地

編集後記

(本多恭代副委員長)

今までの、「あたりまえ」の聞法活動が、わずかこの数年の出来事で忘れそうになっているのは、私だけでしょうか。

このようなことでは次世代にお念仏を届けることは出来ないということで、今年度の一つひとつの研修会・聞法会の趣旨を確かめながら、少しずつ従来のかたちに戻していく事を計画しました。皆様にご参加いただき、そのお声を次に繋がるよう反映させたいと思います。